

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	くいーる作業所
住 所	青森市青柳2丁目2-5
電話番号	017-721-6122

事業所番号	0210101481
管理者名	元山 敦史
対象年度	令和3年度

(Ⅰ) 労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		40	点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動

①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上		5	点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賃金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以下	○		

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）

◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ②利用者を職員として登用する制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ④フレックスタイム制に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑥時差出勤制度に係る労働条件		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○	
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）		9	点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）

◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○	
参加した職員が1人以上半数未満であった			
参加した職員が半数以上であった			
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		○	
いずれか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		○	
1回の場合			
2回以上の場合			
◎ ⑤職員の人事評価制度		○	
人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
◎ ⑥ピアサポーターの配置		○	
ピアサポーターを職員として配置している			
◎ ⑦第三者評価		○	
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
◎ ⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○	
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている			
小計（注2）		3	点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(Ⅴ) 地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10	点
--	---	----	---

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点		20点		25点		40点		5
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		35
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	105	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間					
前年度（令和3年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	19,005	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,679	人
			利用者の1日の平均労働時間数		
			4		
(Ⅱ) 生産活動					
会計期間（4月～3月） 令和4年3月23日厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課通知に基づいた生産活動報告					
前々年度（平成30年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	10,050,303	円	利用者に支払った資金総額	12,642,619	円
			収支 ▲ 2,592,316 円		
前年度（令和元年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	10,066,895	円	利用者に支払った資金総額	11,417,314	円
			収支 ▲ 1,350,419 円		
(Ⅲ) 多様な働き方					
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度 ◎免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度を活用した人数 ● 名 ※取得を進めた免許等： ○○○ ○○○ 制度の活用内容： ○○○ ○○○		②利用者を職員として登用する制度 ◎職員として登用した人数 ● 名 ◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している <input type="checkbox"/> ◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している <input type="checkbox"/> ※登用した日 ●年 ●月 ●日 勤務形態： ○○○ 就業時間： ●時●分～●時●分 職務内容： ○○○		③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 ◎在宅勤務を行った人数 ● 名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（在宅勤務）：●時●分～●時●分 職務内容： ○○○	
④フレックスタイム制に係る労働条件 ◎フレックスタイム制を活用した人数 ● 名 ※実施した期間：●月●日～●月●日 就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分 職務内容： ○○○		⑤短時間勤務に係る労働条件 ◎短時間勤務に従事した人数 1 名 ※実施した期間：7月15日～令和3年7月31日 就業時間（短時間）：9時30分～12時00分 または月で10時間程度 職務内容：手芸製作・封詰め・漁具加工		⑥時差出勤制度に係る労働条件 ◎時差出勤制度を活用した人数 3 名 ※実施した期間：4月16日～3月31日 就業時間（早出の場合）：8時00分～12時30分 就業時間（遅出の場合）：●時●分～●時●分 職務内容： 清掃業務	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 ◎時間単位取得を活用した人数 0 名 ◎計画的付与制度を活用した人数 13 名 ※取得した制度 有給休暇の時間単位取得 <input type="checkbox"/> 計画的付与制度 <input checked="" type="checkbox"/> 取得した期間：7月2日～8月29日 取得日数・時間 5日 0時間		⑧傷病休暇等の取得に関する事項 ◎傷病休暇等を取得した人数 1 名 ※取得した内容： 傷病休暇（入院） 取得した期間：3月8日～3月15日 就業時間： 9時30分～15時00分 職務内容： 漁具加工・ハーネス加工		(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載	
(Ⅳ) 支援力向上					
前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 ◎研修計画を策定している <input checked="" type="checkbox"/> ◎研修実施回数 外部 0回 / 内部 5回 対象職員数 20 人 うち研修受講者数 20 人 ※研修名 支援力スキルアップ研修 研修講師 障害者職業センター・宇恵野 晋 実施日：第1日目5月29日13:00～15:00受講者数20名・第2日目7月3日13:00～15:00受講者数20名 第3日目7月24日13:00～15:00受講者数20名・第4日目8月7日13:00～15:00受講者数20名・第5日目8月21日13:00～15:00受講者数20名		②研修、学会等又は学会誌等において発表 ◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 ● 回 ※研修、学会等名 ○○○ 実施日 ●月 ●日 ※学会誌等名 ○○○ 掲載日 ●月 ●日 発表テーマ ○○○		③視察・実習の実施又は受け入れ ◎先進的事業者の視察・実習の実施している <input checked="" type="checkbox"/> ◎他の事業所の視察・実習を受け入れている <input type="checkbox"/> ※先進的事業者名 東管工業株式会社 実施日/参加者数 9月23日 5人 ※他の事業所名 ○○○ 実施日/参加者数 ●月 ●日 ●人 収益改善・障害者雇用における取組・多職種連携・支援力向上の取組・工賃増計画の参考	
④販路拡大の商談会等への参加 ◎販路拡大の商談会等への参加回数 ● 回 ※商談会等名 ●●●●●●●●●● 主催者名 ●●●●●●●●●● 日時 ●月●日●●:●●～●●:●● 内容 ○○○		⑤職員の人事評価制度 ◎職員の人事評価制度を整備している <input type="checkbox"/> ◎当該人事評価制度を周知している <input type="checkbox"/> 人事評価制度の制定日 ●年 ●月 ●日 人事評価制度の対象職員数 ● 名 うち昇給・昇格を行った者 ● 名 当該人事評価制度の周知方法 ○○○		⑥ピアサポーターの配置 ◎ピアサポーターを配置している <input type="checkbox"/> ◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している <input type="checkbox"/> ※配置期間 ●月●日～●月●日 就業時間 職務内容 ○○○	
⑦第三者評価 ◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている <input type="checkbox"/> ※評価を受けた日 ●月 ●日 第三者評価機関 ○○○		⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等 ◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている <input type="checkbox"/> ※認証を受けた日 ●月 ●日 規格等の内容 ○○○		(※)実績のうち1事例を記載	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	くいーる作業所	事業所番号	0210101481
住 所	青森市青柳 2 丁目 2 - 5	管理者名	元山 敦史
電話番号	017-721-6122	対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要

地域連携活動の概要	
<p><活動内容></p> <p>活動場所 青森市 [] 株式会社 []</p> <p>土日祝日を除く施設稼働日午前中（10:00~12:00）</p> <p>実施した施設外就労の概要</p> <p>野菜サラダ盛り付け・野菜カット等</p> <p>工場内においてユニット単位における加工作業への参加</p> <p>利用者数等・・・利用者 2 名職員 1 名</p>	<p><活動の様子></p> <p>工場内においては衛生管理上カメラの持ち込みや私物の持ち込みが不可能となっており作業中の撮影は不可能である。工場内で生産された成果物についても青森市内のスーパーで店頭販売されているが写真撮影については各店舗の撮影許可等の関係から難しい状況である。活動内容追加コメント・施設営業日に利用者 2 名職員 1 名で工場内の作業に参加している。生産設備の整った工場内では温度管理もなされており、1 年を通して工場内の温度は約 10 度程度である。言い換えれば大型冷蔵庫の中で作業している状況である。その中で当該事業所の参加メンバーがチームを組み製造工程の一部への参加を行い、その作業指導を職員が行っている。一回に参加出来る人数は 2 名であるが、事業所内で体力、能力等から利用者を数名選抜し、その中でシフトを組み参加している。事業所内では常に参加可能な利用者の検討を行っており施設外就労の能力が身についたと思われた時点で本施設外就労に参加させている。</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい・・・事業所内訓練以外の他企業内での訓練を行うことが、一般就労の厳しさや社会性を身に着ける機会になるのではないかと考えられる。施設外就労場所は当事業所以外に他の就労系福祉サービス事業所の受け入れも行っているため、現場交流等とおし問題解決を図ることが出来る。</p> <p>地域にとってのメリット・・・健常者と障害者と同じ工場内で作業することにより障がい者に対する理解が深まると考えられる。同人障がい者雇用への理解が深まるのではないかとと思われる。</p> <p>対象者にとってのメリット・・・利用者自ら施設外就労で生産された商品が社会へ流通することが本人の自信に繋がるのではないかと考える。また、一般就労における社会性の学習にも繋がると思われる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果・・・施設内で訓練を行うことだけで得られない仕事に対する責任感や他企業と接することでの社会性を身に着けることが出来た。一般就労へ決まった利用者からも工場での作業経験があったとよかったとの連絡があった。</p> <p>得られた結果・・・参加利用者の仕事に対する責任感や身の回りの整理整頓等、仕事に対する意識の変化が見られる。以前よりも社会性の改善のみられる利用者も居た。事業所の生産活動における収入面の向上がみられる。</p> <p>課題点・・・いつもと違う仕事、第三者に対し責任を伴う仕事、他企業内での仕事という意識が強すぎて、利用者側で仕事に慣れるまでプレッシャーになり精神的負担を感じてしまうケースがある。作業環境における温度差が体調の管理に影響する場合がある。体力の不足している利用者においては事業所内で基礎体力の向上を行い未参加の利用者も参加できるよう訓練を継続していく予定である。</p>	

連携先の企業等の意見または評価

別紙のとおり※相手先企業の希望により非公開

連携先企業名	非公開	担当者名	非公開
--------	-----	------	-----